

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 総務文教分科会		会議場所 第3委員会室
			担当職員 藤村
日 時	平成25年7月29日(月)	開 議	午前 10 時 17分
		閉 議	午前 11 時 23分
出席委員	吉田 田中 並河 山本 中村 石野 堤		< 欠席 西村委員 >
執行機関出席者			
事務局	藤村事務局次長		
傍聴	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否	市民 0名	報道関係者 0名 議員 0名

## 会 議 の 概 要

### 1 堤委員長 あいさつ 開議

### 2 事件

#### 事務事業評価項目の選定について

#### < 吉田委員長 >

決算特別委員会総務文教分科会で実施する事務事業評価の項目を選定する。概ね3項目程度選定いただく。今回から委員会のインターネット中継を行っていくが全員協議会室にしかカメラが設置されないのので、各分科会が1日ずつ全員協議会室を使って事務事業評価を行い、それを中継していくことになっている。3項目程度だが多少増えても構わない。各自、選定理由と項目を上げていただきたい。最終的に意見が重複した事業等を中心に絞り込んでいきたい。順に意見を出されたい。

#### < 山本委員 >

生涯学習部の男女共同参画経費と教育部の人権教育経費について、予算審査時も類似事業ではないかという意見があったと思うが、男女共同参画経費にも女性の人権、DV等があり、人権教育経費にも女性集会開催経費が挙げられている。内容をよく聴きたい。

教育部の就学奨励経費について、生活保護世帯が増加していることもあり、現在1,800万円ほどの決算額だが受給者が増加した場合、対応できるのか。また、本当に困っている家庭が援助を受けられているのか。計画人数と実際の申請人数を確認し、申請数が少なければ金額を上げる等中身も検討していけばいいのではないかと。以上2点。

#### < 中村委員 >

企画管理部の夢ビジョンシンボルプロジェクトについて、予算審査時も議論があった。中身がなかなか見えてこないこともあるし、今後、まとめていく方向性も明らかでない。検証していきたい。

教育部の中学校スクールバス運行委託料について、育親中学校のスクールバスの分であるが、費用対効果の観点で指摘したい。京阪京都交通バスの大型バスが育親

中と畑野町を行き来しているが、大型バスに乗っているのは半分ぐらいである。効率的にバスを小型化し、経費を抑えることは可能ではないかという思いもあり、また、いろんな地域の声も聞くので確認していきたい。

< 並河委員 >

政策推進室のコミュニティバス、ふるさとバスについて、地域を広げてほしいという要望もあるので中身を聴きたい。

教育部の要保護・準要保護児童援助経費について、生活保護費の削減が言われている中で必要な人に手当がきちりと出来ているのか。

教育費の何の経費か不明だが、「教育費は無料」の観点から保護者負担は増えていないのか。

< 吉田委員長 >

事務局で、何費かわかるか。

< 事務局 >

はっきりわからない。学校運営経費で賄えない分が保護者負担になっているのかとも思う。確認する。

< 並河委員 >

毎年、保護者負担が増えているとも聞く。

< 石野委員 >

セーフコミュニティ推進事業経費。25年3月に再認証は受けたがまだまだ全市的になっていない。今後どのように展開していこうとしているのか。

庁舎維持管理経費。22年にも事業評価をしたがしっかりと見ていきたい。

若木の家。議案が撤回され、もう一度考えなおさなければならない。年数もかなり経過している。どのようにしていこうとしているのか。

< 堤委員 >

生涯学習経費について、財団活動経費として多額の支出が長年続いている。生涯学習かめおか財団に指定管理しているが、相手先はそこしかないのか。他の文化団体のようなものはないのか。一度、根本的に見直すべきではないかと思う。

消防団経費。火災はもちろんのこと、災害、水害等広く活動している消防団の活動は大変重要である。もはや常備消防だけでは回れない部分で大きな役割を果たしている。それに報いるだけの団員報酬になっているか。団員一人あたりの報酬は低いのではないかという声を聞いている。団員の報酬根拠は何か。見直してほしいところがある。

< 田中副委員長 >

入札関連経費。業者の状況は大変と聞いている。適切な予定価格になっているのか。あまりに切りすぎていないか。その点を聴きたい。

生涯学習部の生涯学習推進経費の中の生涯学習賞。全国区で行われているがこれだけの経費をかけて亀岡市の生涯学習推進にどれだけ寄与しているのか疑問に思う。その分をもっと亀岡に使うべきである。学習賞の内容を見極めたい。

< 吉田委員長 >

見事に意見が分かれた。西村委員からもセーフコミュニティの全市的な取り組みについて聞いているので、これは候補に挙げるべきかとも思うが、毎年評価をしており、同じような意見を言ってきている。効果の面でどうか。

私は、山本委員と近い意見で、生涯学習部と教育部で重なっている人権啓発、人権教育の事業を整理し直したいと思っている。男女共同参画だけではなく重なっているところ全てを、両担当課一緒に聴きたい。事業効果というか、重なっているところを

整理したい。別事業ではあるが可能か。

< 堤委員 >

各委員から出された意見を3項目程度に絞るにあたり、一覧に出来ないか。

< 事務局 >

事業名のみなら用意できる。

< 吉田委員長 >

一覧ができるまで休憩する。

~ 10 : 36

( 休 憩 )

10 : 57 ~

< 吉田委員長 >

休憩前に引き続き、会議を開く。一覧をご覧いただきたい。男女共同参画と人権教育は重なっているところについて、就学奨励経費は本当に困った人に行き届くように対応できているのか、夢ビジョンシンボルプロジェクトは中身が見えてこないという意見、中学校スクールバスについては費用対効果を考えて大きなバスでなくてもいいのではないかという意見、セーフコミュニティ事業については全市的な取り組みが出来ているのか、庁舎維持管理経費は適正に管理出来ているか。若木の家については、9月議会で出される予定なのでそこで聞いていくことにする。生涯学習推進経費は生涯学習かめおか財団にお任せでいいのか、消防団経費は団員の活動に報いるだけの報酬になっているのか根拠を、入札監理については予定価格の正当性、生涯学習賞はそれだけの余裕があるのか、人権啓発事業は人権教育事業との重なる部分について。二つの部をまたがってということは難しいか。

< 事務局 >

部をまたがってというのは例がないので、少し難しい。調整が要る。

< 吉田委員長 >

これまでも指摘要望や附帯決議で再三整理を促してきた。一緒に説明することは出来るはずだし、是非ともお願いしたい。放課後児童会については、請願を採択し、現場視察もした。改善されてきているが、事務員や世話されている方の人数が少ない、しんどいという声があるので、実際に従事されている方の声が聴きたい。事務事業評価に拘らないが現場の声が聴きたい。以上、整理した。どのように絞っていけばいいか。

< 田中副委員長 >

入札関係はおろしてもいい。

< 吉田委員長 >

若木の家は先ほど言ったとおり、9月議会で。

< 中村委員 >

中学校のスクールバス関係は決算審査の中で聴いていくことでいい。

< 堤委員 >

消防団経費はおろす。

< 中村委員 >

生涯学習推進経費もいい方法があれば広く外部に指定管理すればいいと思うが、元々の趣旨とそれにまつわる財源の問題がある。それが問題ないということであればそうしてほしいと思う。

<吉田委員長>

取り下げてくださいましたもの、複数の意見が出されたものを整理すると、  
、  
をまとめて人権啓発、人権教育事業で2人から意見が出ている。生涯学習推進経費も  
2人から。あと2つぐらいに絞れたらいいが。セーフコミュニティは昨年もしている  
のでいいかと思うがどうか。

<事務局>

過去4年間の事務事業評価項目をご覧いただきたい。セーフコミュニティは昨年も  
評価されており、「継続」と評価されている。一昨年は「拡充」であった。それらの  
評価結果、意見を踏まえてさらに今年もということであれば論点を整理し決定されたい。

<堤委員>

続けて評価しているので、今回は違う項目を選んだ方がいいのではないかと。また、  
年をあけてするのはいい。

<吉田委員長>

それではセーフコミュニティは項目としないこととする。  
、  
、  
、  
から  
3項目決定する。挙手で決める。

<石野委員>

庁舎維持管理経費も23年度にしているのもまた、後年でいい。

<吉田委員長>

それでは、  
、  
、  
、  
で挙手願う。 番就学奨励経費を評価項目とするという  
方は。

2人挙手

夢ビジョンシンボルプロジェクトという方は。

3人挙手

コミュニティバス、ふるさとバス経費という方は。

2人挙手

放課後児童会という方は。

3人挙手

<事務局>

項目にしないということではないが、コミュニティバス、ふるさとバスについては  
経費の細かい部分はされていないが事業のあり方そのものについては公共交通対策  
特別委員会が取り組んでおられるので、そのあたりのことも考慮されればと思う。

<吉田委員長>

今年度アンケートを採るということなので進んでいるので、そのことについては決算審  
査の中で聴き、事務事業評価はそのあとの方がいいかもしれない。

それでは、 就学奨励経費、 夢ビジョンシンボルプロジェクト、 生涯学習経費、  
放課後児童会事業、それと  
をまとめて人権啓発・人権教育事業を事務事業評  
価する。以上5項目。

<事務局>

1日で5項目というのは相当厳しいし、複数部まとめたの評価ということも調整を  
要するので本日は暫定としておいていただきたい。また、1経費=1事業のものもある  
が、1経費の中に複数の事業があるものもある。明確に事業名を整理確認いた  
きたい。

<吉田委員長>

事業名で整理すると、就学奨励事業、夢ビジョンシンボルプロジェクト推進事業、

生涯学習推進経費はその中の財団活動補助・指定管理事業、放課後児童対策事業、人権関係は事務局で整理願う。

<堤委員>

「決算事務事業評価に向けて」の資料にあるように、なぜ事務事業評価をするのかという論点を整理し、意見を出した委員が説明するのか、委員長が言うのか。

<吉田委員長>

あくまでも委員会で選定したので、委員長から論点を伝え、説明を受け、その後自由に質疑いただくという格好になる。選定理由は正副委員長と事務局で今一度整理し、理事者に伝えていくことにする。

### 3 その他

<吉田委員長>

次回8月の日程と内容を決めたい。事前に現地視察を行うもよしということで決算特別委員会総務文教分科会として開催する。候補日は8月26日(月)午前・午後、27日(火)午後、28日(水)午前・午後、30日(木)午前・午後とするがどうか。現地視察の希望があれば視察先の都合にもよる。

<田中副委員長>

事務事業評価項目の中に現地視察するものがあるか。

<吉田委員長>

個人的には放課後児童会で働く方の話が聴きたい。放課後児童会の現地視察でいいか。

全員了

放課後児童会の実施日に関わるので事務局で調整の上、知らせてほしい。

<事務局>

学校の希望はあるか。

<吉田委員長>

できれば人数の多いところ。

<並河委員>

要望の上がってきている学校とかはないか。会派でも各学校を回ったが、1日に2~3校しか回れなかった。

<吉田委員長>

参加児童の多いところで2~3箇所。無理なら1箇所でもいいので予定を聞いてもらいたい。

「午前中がいい」という声あり

それでは26日の午前中で受け入れ可能な児童会があれば調整を、無理なら別日で調整する。

<事務局>

指導員と話をすることが目的で意見交換という形か。児童がいる時間帯は手が離せないかもしれないので時間の変更もありということで了解願う。

<吉田委員長>

事務局で調整願う。

それではこれで分科会を閉議する。

閉議

~ 11 : 23